

令和 7 年度 第1回旭川市博物館協議会議事録

日時:令和7年8月 27日(水) 午後6時から午後7時40分まで

場 所:旭川市博物館 郷土学習室

出席委員:辻並会長、奥寺委員、小野委員、佐藤委員、古川委員、石田委員、坪坂委員、白川部委員（以上 8名）

会議の公開・非公開の別:公開

傍聴者の数:なし

(次 第)

1 開会

2 社会教育部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議事

(1)令和 6 年度事業実績について

(2)令和 7 年度事業計画について

(3)その他

5 閉会

## 議事内容(要約)

### (1) 令和6年度事業実績について

事務局	資料に基づき説明
会長	意見や質問はあるか。
委員	資料3ページ 令和 6 年度旭川市博物館団体入館地域別内訳の人数について、石狩管内からの入館者がかなり増えていると見受けられるが、何か広報活動などを実施したのか。
事務局	特段広報などを実施したわけではない。ただ、かなり前ではあるが、修学旅行等の関係者(旅行会社、教育関係者)が集まる場にて、誘致活動を行っていた。推測ではあるが、そのようなことから、札幌方面の中学校の修学旅行の増加があり、このような傾向が続いていると考えている。
会長	それに関連して、令和 6 年度の入館数は前年と比べ2割程度多くなっている。コロナ前と比べても多い数であるが、何か要因はあったのか。
事務局	常設展示のほかに、企画展を毎年実施していることが要因の一つと考えている。また、数としてカウントしてはいないが、受付の実感として、インバウンドが増えているということがあげられる。
委員	外国人の来館者が多かったということだが、通訳や翻訳など外国人対応はどうしているのか。
事務局	現状は外国語に堪能な職員がいないため、主要な解説については、二次元コードを配置し、それを読み込むことで、スマートフォン等で英語の解説を読むことができるようになっている。令和8年度には、韓国語版と中国語版もできる予定である。
委員	せっかく來てくれた方に旭川について、しっかり分かってもらうことは重要と考えており、そのためにも博物館は大事なところと思う。
会長	ほかに意見や質問はあるか
委員	資料 7 ページ アイヌ学習プログラムのバス送迎の関係で、先ほど予算の都合上、申込された全ての学校に対応できていないという話があったが、実際どのくらいだったのか。
事務局	令和5年度は5校が落選となった。事業の都合上、プログラム参加への申込に対して、受け入れできる数に上限があるが、令和6年度は結果として受け入れが決まりバス送迎の希望があった学校については、すべてバスの対応ができた。募集時に、このアイヌ学習プログラムの実施期間を提示して、その中で希望日を選んでもらう形になっている。
委員	学校としては、そのように限定されるのはどうなのか。2学期に限定されるとくらいなどあるのか。
会長	学校側として委員の方から何か意見あるか。
委員	事業実施側の対応が可能かどうかということも重要である。学校側としては柔

	軟に対応可能なので、相談場面を作つてもらえればと思う。
会長	ほかに質問あるか。無いようなので、次の議題に移る。

(2) 令和7年度事業計画について

事務局	資料に基づき説明
会長	意見や質問はあるか。
委員	令和6年度の行政評価等を踏まえ、改善した点や新たな取り組みがあれば教えてほしい。
事務局	事業に対する評価としては社会教育基本計画の点検評価などがあり、そこで得られた意見を踏まえて見直しをしながら事業を構築している。昨年度を踏まえ改善した例をあげると、アイヌ文様刺しゅう講座は郷土学習としてアイヌ文化に理解を深めてもらう効果も高く、幅広い世代の参加者に人気があり、他にも同様な講座の開催を望む声があったことから、刺しゅうのほかにもアイヌの手仕事に関する講座として、伝統的なゴザ編みの技法を体験する講座などを新たに開催する予定である。また、アイヌ語講座では、毎年開催を続けるうちに数年に渡って継続して参加している方も出てきたので、習熟度に応じた形で受講できるよう初心者向けと上級者向けと講座を分けて開催することとした。
会長	以前から、今の時代に合わせた若い方への情報ツールへの発信も必要だという話が協議会の中で出ていたところであり、先の説明の中で、令和7年度からインスタグラムを開設したという話があり、改善点であると感じた。 また、6月に近隣施設で菓子博が開催されていたが、その来場者が博物館にも足を運ぶような関連イベントとして「お菓子の道具」企画展も開催され、昨年菓子博に合わせたイベント等の実施の話が出ていたが、協議会の意見も踏まえて、様々な取り組みを工夫していると理解している。
委員	菓子博半券を持っていると割引になるということだったが、菓子博の半券をもった入館者は多かったのか。
事務局	5月30日～6月30日の割引期間中、菓子博半券を持ってきた来館者は、578名であり、多くの方に利用頂いた。
委員	菓子博とのタイアップは、大変良い企画だったと思う。
会長	ほかに意見や質問はあるか。
委員	博物館実習の受け入れということが述べられていたが、人材育成という面で、学芸員資格はどのようにとるのか。
事務局	学芸員は国家資格であり、複数の取り方があるが、基本的には大学で開講されている授業や実地研修の単位を取得して認定となる。大学からの依頼により、旭川市出身者又は旭川市内の大学の通学者に限り、実地研修として博物館実習を受け入れしている。
会長	ほかに意見や質問はあるか。

委員	アイヌ語地名の表示板はどこで見られるのか。
事務局	当館で設置したものは「旭川市教育委員会」と明記しており、市内各所にある。分かりやすいところで言えば、上野ファームの駐車場や神居古潭の入口の駐車場などに設置している。それぞれの土地の所有者や管理者に許可を取り、設置している。 その他設置場所や内容の一覧はHPで見られるようにしている。
会長	全体を通して、事務局から説明された事業の充実が入館者の増につながってきていると思う。 また、予算の制約はあるのは仕方がないが、子どもたちの教育に関わるものとして、子どもたちがアイヌ文化も含めて旭川のことに理解を深め、旭川のことを誇りに思い、また旭川に戻ってきたいというようになってもらいたく、必要な予算を確保して頂けるよう、事務局にはがんばって頂きたい。
会長	ほかに意見や質問はあるか
会長	無いようなので、事業報告及び事業計画については、委員の了承を得たということで次に進める。
会長	その他ということで、何か議題案件を持っていれば発言を願う。
委員	個人的な意見であるかもしれないが、鉄道に関する企画展を計画してほしい。旭川は、函館本線、宗谷本線、石北本線、富良野線が乗り入れしている貴重な土地であるので、何か節目の年に企画して頂ければと思う。例えば、名寄市では今年、深名線廃線から 30 年という節目の年であり、特別展が開催された。キマロキ編成という除雪編成について紹介するなどされており、その土地ならではのエピソードなどを紹介することは有意義だと思う。 また、滝川では、戦後 80 年の節目をとらえた企画展を開催しており、旭川市博物館でも常設展示とは異なる分野で、そのような節目をとらえた企画展を計画してほしい。
事務局	鉄道に関しては、当館所蔵の資料がどれくらいあるのかにもよるが、多くの人の興味のある分野もあると思われる所以、機会をとらえて、隨時検討したい。また、御意見を踏まえ、そのときの社会情勢に合わせた展示についても検討していきたいと考えている。
会長	何か他にあるか。
会長	無いようなので、これで議事を終了する。
	<終了>